

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台
2	指定管理者	公益財団法人せんだい男女共同参画財団
3	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》平成30年度 146,981人（前年度比▲11%） 平成29年度 165,066人 平成28年度 178,590人</p> <p>《事業》 ・施設の管理運営 ・男女共同参画に関する関連情報の収集提供、各種相談の実施、市民活動の支援及び交流の促進</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 （ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 192,593千円 （188,011千円） ・ その他市が負担した費用 93,279千円 （91,121千円） <p>※建物賃借に係る敷金は年度末に全額返還されたため、金額から除いた。</p> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 8,667千円 （8,834千円） ・ その他収入 131千円 （183千円）
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>①利用者アンケートの実施 平成30年11月13日から平成30年12月12日まで施設利用者に対してアンケート調査を実施し、アンケート結果及びサービス改善に対する提案・意見への回答を施設内に掲示した。</p> <p>②センター利用団体交流会の実施 市民活動支援の一環で貸出ているロッカーの利用団体が一堂に集まるロッカー入替作業時に、団体同士の情報交換を促す交流会を実施し、利用者の意見を職員が聴き取った。</p>

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的や施設運営上の基本方針に基づき、適切に管理運営されており、設置目的の達成に向けて、職員一人ひとりが事業企画や施設管理に反映できるよう、会議や研修の機会を通じて意識を共有している。また、利用者が公平・公正に施設を利用できるよう情報提供や受付を行うとともに、市民交流・図書資料スペースの運用や財団の市民活動サポート事業などを通して市民が自主的な活動を行うための支援や交流の場を提供している。	21/21
II 施設の運営管理体制	職員の勤務状況、配置状況、施設の開館、指定管理料について適切に管理されているほか、イベント開催時や繁忙期も、施設運営や市民サービスに支障を来さないよう、柔軟な職員配置を行っている。情報セキュリティ対策では、記録媒体やデータの保管・管理を適切に行っているほか、内部研修によりすべての職員が個人情報保護について高い意識を持つよう努めている。また、事故発生時や非常時の体制も整備し、随時見直しを行っているほか、男女共同参画に係る施設の全国組織で運用する相互支援システムを活用し、災害時には全国の加入施設と連携、支援を行う体制を整えている。	31/30
III 施設・設備の維持管理	建物・設備・備品の適切な維持管理を行うとともに、清掃・警備等の委託業務についても、随時情報を共有しながら適切な管理を行っている。また、環境への配慮については、ビル全体のゴミ分別に協力するとともに、利用者にもゴミ分別や節水を呼びかけるなど積極的な対応を行っている。	20/20
IV サービスの質の向上	服装や身だしなみ、電話・窓口対応など、普段から適切な対応に努めるほか、研修などを活用し接遇の向上に努めている。また、利用者アンケートや市民活動スペースでの利用票、懇談会などを通じて積極的に利用者の意見を把握し、利用者が随時施設に提案や意見を寄せられるよう、問合せ先をわかりやすく掲示するなど、館長を中心に適切な対応を行っている。さらに、男女共同参画に係る施設の全国組織と連携しながら、全国から参加する研修事業を企画・開催し、職員の能力向上を図るとともに、他地域の施設との連携強化にも取り組んだ。	29/28
V 施設固有の基準	施設の使用許可、使用料徴収や収納、還付事務等については規定類に従って適切に行われているほか、図書資料の収集・提供・市民活動への支援及び交流の促進について積極的に取り組んでいる。相談事業については、関係機関と連携しながらニーズを把握し、事業化するなど十分な相談実績をあげているほか、地域の支援団体との関係作りにも取り組んでいる。	31/30

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（（公財）せんだい男女共同参画財団）による自己評価》
<p>仙台市の男女共同参画推進の拠点施設として、エル・パーク仙台とともに2館で機能を分担し、センターの設置目的ののった管理運営を行っている。施設管理、市民交流・図書資料スペース運営、相談業務を主に担っており、指定管理事業と財団自主事業等を連携させながら効果的に施設運営を行っている。</p> <p>(1) 施設管理及び市民交流・図書資料スペースの運営 照度が十分な時間帯に窓際の照明を消灯するほか、空調効果を高めるために貸室でのブラインド利用を推進するなど、安全かつ省エネを意識した施設管理を行った。また、利用者の意見・要望を定期的に職員間で共有・検討し、フリースペースの効果的な利用につなげるため、グループ優先席やチャリコーナーなどのレイアウト変更を行ったほか、館内放送やSNS等を活用して、センターからの積極的な情報発信を行った。特に、貸室ロビーには、女性活躍推進や「女性と貧困」などの主催事業に関連した展示や、それに関連する図書が手に取れるコーナーを設置することで、貸室目的で来館した利用者に対し、男女共同参画の視点に触れる機会を提供した。</p> <p>(2) 男女共同参画推進に関する相談事業 新たに本格実施した「就業自立相談」では、予想を上回る件数の相談があり、社会的困難を抱えた女性にとって必要な支援であることが窺われた。また、性暴力被害者支援事業の実施に向けて、先進事例として他都市への視察を行ったほか、受講者ニーズの把握とプログラムの検討のために関係機関の相談員等を対象とした「性暴力被害者支援スキルアップ講座」のプレ企画を実施。DVだけでなく性暴力に対する相談対応の向上にも着手できたことで、次年度に向けての計画がより具体化された。さらに、母子家庭相談支援センターとも連携し、相談で把握した課題やニーズを基に、困難な状況にある女性への財団による支援事業につなげられたことも新たな成果となった。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>エル・ソーラ仙台の管理運営にあたり、利用者の意見や要望を取り入れつつ、男女共同参画推進センターとしての市民活動支援、及び情報発信力の強化に向けたフリースペースのレイアウトや運用の変更に取り組み、男女共同参画の推進に資する積極的な施設運営を行っている。また、図書資料等収集・情報提供事業については、主催事業や相談事業等と関連したテーマでの図書のピックアップや、工夫を凝らした館内展示の充実に取り組んでいる。</p> <p>相談事業については、DVなど女性への暴力被害者への安全確保にも配慮した相談対応や自助グループ支援を継続するとともに、性暴力被害者や支援の充実に向けた関係機関の相談員等を対象とした研修にも取り組んだ。また、関係機関と連携し、対象者の現状からニーズを把握し、就業自立相談や自立を目指す女性向けのキャリア支援事業につなげるなど、困難な状況にある女性の自立支援の充実にも努めている。</p> <p>指定管理者として、関係する条例等の内容に基づき適切に施設の管理運営を行うだけでなく、日頃から地域の女性や団体、企業等とのネットワークを広げ、多様な主体と連携することで発信力を高めるなど、男女共同参画推進センターとしての役割を十分に果たしており、非常に優れた運営管理を行っていると評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：市民局 協働まちづくり推進部 男女共同参画課